

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWO**

全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4346  
23年5月9日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

## CS掲示板 気にしてありますか？ 献血への協力依頼があります



おはようございます。  
昨日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。これに伴い長中局でも食堂や休憩室・コーナー及び喫煙所での椅子の配置やパーテーションの撤去、黙食や黙煙措置が終了しました。ただマスクは概ね一か月をめぐりという事ですがこれまで通り着用が求められるほか、窓口のパーテーションもしばらくは設置したままとなるそうです。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員が正社員化を。

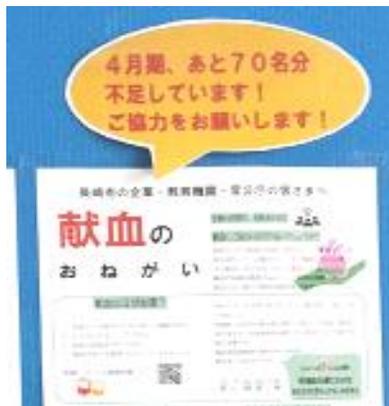
ゆげが、均等待遇、なげんが差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！



もあり、皆が外すようになるとは思えません。その場合、今後もマスク着用を会社から指示される場合も考えられます。梅雨時期や夏本番となる前に「個人の判断」にゆだねられるようになれば良いなと思います。

### 献血への協力を

さて今日は中央郵便局一階エレベーターの横にある「CS掲示板」の紹介です。見られた方も多しと思えますが、今この掲示板には「献血のお願い」の文書が掲示されています。総務に聞いたところ4月に長崎県献血センターから献血への協力依頼が有ったので、持参された文章を掲示し社員に案内したとの事でした。



献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うために、健康な人が自らの血液を

「長崎市の企業・教育機関・官公庁の皆さまへ」の献血のお願いのほか、献血の種類や献血Web会員サービス、ラブラッドの紹介のほか、薬を服用したときや新型コロナウイルスワクチン接種などについての注意点なども紹介されています。

無償で提供するボランティアです。  
日本国内では、少子高齢化等の影響により、主に輸血を必要とする高齢者層が増加し、若い世代が減少しています。10〜30代の献血協力者数はこの10年間で31%（2012年が約254万人↓2021年が約174万人で約80万人）も減少しており、少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。

実際長崎県では昨年令和4年の献血数（約5万4千回）は前年と比べて1,200回以上少なくなっています。この為日本赤十字では長崎市と佐世保市の献血ルームでの献血の呼びかけの他、毎日献血バスを運行し、企業、学校など団体での献血ご協力をお願いしています。

長中局では昨年秋に数年ぶりに献血バスが来局し実施されました。実施時間が昼の1時間と短かったこともあり、希望しても献血できなかったという社員も多かったです。

ました。駐車場が狭く献血バスを長時間停車できないという問題もありますが、会議室等を臨時の献血会場とするオープン献血もできるようです。今年も長中局での献血会場設置を要望します。



また以前献血をしたことがある社員には、献血のWEBサービスであるラブラッドに登録してもらい、事前に問診（献血に関する質問）回答を行ってもらう事で当日の時間を短縮するなど、一人でも多くの社員が献血に協力できるように、社員周知してほしいと思います。尚、令和2年から血圧脈拍など献血の際の新たな基準が定められました。既往症での制限も緩和されています。

これまで出来なかった人も出来る可能性があります。お尋ねください。

